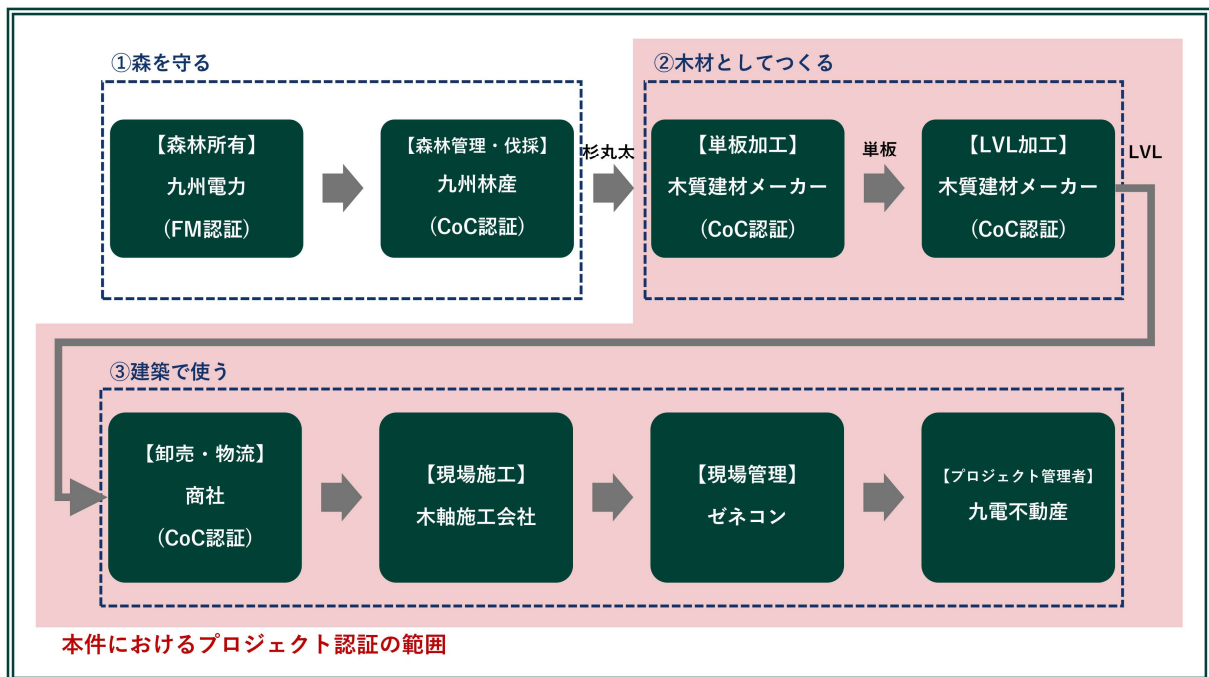


『GROUNDI OHORI』におけるFSC認証材®活用スキーム

『GROUNDI OHORI』では、九電グループの3社が連携し、保有・管理する森林資源を建築資材という最終用途まで一貫して活用する取組みを進めています。

本取組みの特徴は、自社が保有する森林資源を起点に、サプライチェーン全体を構築している点にあります。

<全体像>



① 森を守る【九州電力・九州林産】

九州電力が保有する社有林（「くじゅう九電の森」など）は、そのほとんどで森林管理認証（FM 認証）を取得しています。本取組みでは、同社有林にて九州林産により伐採された FSC®認証材を建築資材として活用します。



九州電力が保有する社有林「くじゅう九電の森」

② 木材としてつくる【協力企業】

九州林産により伐採・運搬された木材は、本取組みに協力いただく企業により製材・加工され、木軸 LVL^{※1}（壁・天井下地）として供給されます。加工・流通の過程では、CoC 認証^{※2}に基づく管理が行われます。

※1 Laminated Veneer Lumber の略称。薄くスライスした単板を繊維方向が平行になるように積層・接着した木質材料。

※2 Chain of Custody の略称。FSC[®]認証材が供給チェーンの中で混ざらず正しく取り扱われていることを認証する制度。



九州林産による間伐の様子

③ 建築で使う【九電不動産】

『GROUNDI OHORI』では、九電不動産がこれら一連の流れを建築プロジェクトとして整理し、森林認証制度 FSC[®]における「プロジェクト認証」を取得しました。



FSC[®]認証材として活用する木軸 LVL の使用イメージ
（壁・天井下地）

『GROUNDI OHORI』外観イメージ